

令和6年度  
40歳～74歳  
富士市国民健康保険

# 500円 で受けられる 特定健診

回覧

検査内容 自費で受診すると1万円程度かかる、充実の内容です。  
問診・身体腹囲測定・血圧測定・血液検査・尿検査・心電図  
(眼底検査：検査の結果対象となった場合)

持ち物 富士市国民健康保険証・特定健診受診券(青)  
500円(令和5年度市民税非課税世帯の場合は、無料になります。  
申し込みの際に受付でお申し出ください。)



今年は  
なんと!!

健診の  
自己負担金が

0円

になる人が...

対象条件は  
裏面をチェック!!

おすまいの近くでは

月日/時間	7月23日(火) 午前	7月31日(水) 午前・午後
会場	原田まちづくりセンター	富士見台まちづくりセンター

予約先：電話 0545-67-8830 (富士市医師会)  
またはウェブ予約 (右記QRコードより)



掲載した以外の会場・日程もありますので、詳細は受診券同封の一覧をご覧ください

もちろん、医療機関でも同じ内容、同じ金額！12月10日まで★

直接 医療機関へお申し込みください

医療機関名	電話番号
秋山医院	34-0075
犬塚内科医院	21-3481
加藤医院	34-0011
清水内科医院	34-0512
渡辺クリニック	22-1500

スムーズな  
受診のため  
必ず予約!



お住まいの近くの医療機関を掲載しています。他にも実施機関がありますので、詳細は受診券同封の一覧をご覧ください。

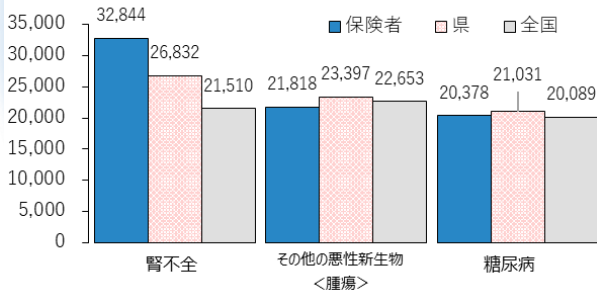
お問い合わせ：富士市 国保年金課 保健事業担当 ☎55-2917 ✉ho-kokuho@div.city.fuji.shizuoka.jp

# 富士市国保の健康状況

～ 第3期データヘルス計画より～

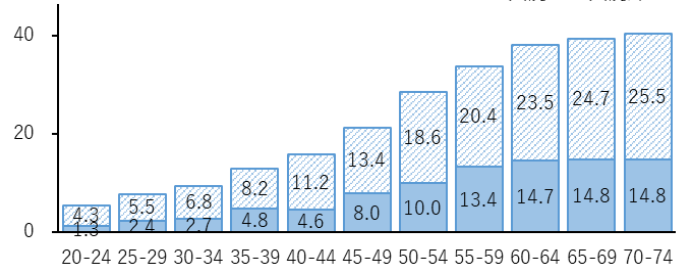
1人当たりの医療費は、年々増えています。国・県と比べると、腎不全の1人当たり医療費が高くなっています。(図1)

図1 1人当たり医療費\_上位3位 (令和4年度)

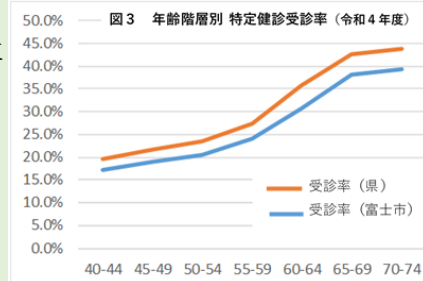


加齢とともに、医療費は増加しますが、入院では45-49歳、55-59歳、入院外では50-54歳の1人当たり医療費が急激に上昇します(図2)

図2 1人当たり医療費



特定健診受診率は、長期にわたり低い状況です。特に40-50歳代の受診率が低くなっています(図3)



50歳ごろから、生活習慣病による通院や入院の費用が急激に増えてきます  
40-50歳から、体の状態を知る(健診を受ける)ことで、いつまでも健康でください。

これらの状況から..

令和6年度は  
40歳～59歳

S40年4月1日～  
S60年3月31日生まれ

の方は、

自己負担金  
(500円)が 無料!

勤務先の健康診断や人間ドックを受ける方、定期通院中の方へお願い

富士市国民健康保険の加入者で、勤務先で健康診断を受ける方や人間ドック(富士市国保が助成しないもの)を受ける方、定期通院で特定健診相当の検査を受けている方は、健診結果や検査結果のコピーの提出をお願いいたします。【提出先】富士市役所 国保年金課(3階 北側) 提出用封筒をお送りしますので、お電話(0545-55-2917)又は右記QRコードから申請してください。



今年度75歳になる方の受診券発送について

75歳の誕生日からは加入する健康保険が、自動的に後期高齢者医療保険に切り替わります。昭和24年4月1日～昭和24年9月30日生まれの方の受診券は誕生月の中旬に発送します。ピンクの封筒で後期高齢者医療保険担当(55-2754)から受診券が発送されますのでご確認ください。